

くさか景子の ちょっ よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2010年2月 Vol 33



県クールネッサンス・レジ袋削減の取り組み

「県内初」茅ヶ崎市がモデル地域「第1号」に指定！



県は、クールネッサンス宣言の一環として、昨年5月「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」を行い、宣言に賛同した事業者、各種団体、市町村と連携協力して、レジ袋削減への取組みを進め、CO₂と廃棄物の削減に取り組んでいます。

レジ袋の現状(年間) 県内推計値

使用枚数 21億枚

CO₂ 排出量 12万7200トン 全県 CO₂ 排出量の0.2%

廃棄物量 2万1200トン 一般廃棄物排出量の0.6%



県のエコバッグ

この度、茅ヶ崎市がモデル地域に指定され、市は、具体的な取組を開始します。すでに、市内大型スーパーなどでは、レジ袋を断ると、2円引きになったり、ポイント加算などの特典をつけて協力しています。市では、大型店、商店会、商工会議所などに加入している市内事業所にさらに啓発やPRを行い、リサイクル推進店の充実やごみ通信への掲載でレジ袋削減を図っていくということです。

事業者は、数値目標や取組内容を県に報告、さらに積極的に取り組む店舗を特定店舗とし、高いレジ袋辞退率を設定しています。

私たち消費者も、日常生活の中で、誰もが簡単にできる「レジ袋の削減」の実践に努力しましょう。



くさか景子のほっとコラム

県の男女共同参画遅れている！？

国連が公表している女性の活躍度を示す「ジェンダーエンパワーメント指数(GEM)」は、昨年日本は、109ヶ国中57位。世界2位の経済大国の割には、低すぎます。国連の「女性差別撤廃委員会」は国際的に見て、日本の男女共同参画がものすごく遅れており、取組も不十分と何度も勧告しています。日本は教育水準も高いのに、なぜ遅れているのでしょうか？①男は仕事、女は家庭の意識がまだ根強い②女性の仕事と家庭の両立の困難③女性のキャリア形成への不安と支援不足の3点といわれています。

県議会の女性議員の比率は10%、県職員の女性管理職の割合も9.8%、アメリカでは、女性管理職の割合は平均で48%と高い。県では、女性管理職を5年間で2倍の20%の目標を掲げています。自然発生的には増えません。女性はまだまだ補助的な仕事になってしまうなど、女性を積極的に育てることと家庭との両立できる環境整備を整えることが求められます。

こどもたちの未来のために



議員インターンシップでお世話になります。

みなさん、はじめまして。この春、日下議員の下でインターンシップさせていただきます。日下議員との出会いは、昨年の春のことです。元宮城県知事の浅野史郎先生の授業で神奈川県を受動喫煙防止条例を調べました。その時に、浅野先生から県議会議員の日下議員を紹介していただきました。日下議員には、アンケート調査もサポートしていただき、松沢成文神奈川県知事に直接お会いし、条例に向けての私たちの提案をする場も作っていただくことができました。さらには、今回の「議員インターンシップ」の事も教えていただきました。



議員インターンシップ 箕島君と

私がこのインターンシップする理由は、政治家を志しているからです。小学5年生のときに歴史を勉強するようになって、私は段々、日本史を彩る人々に憧れをいだくようになりました。聖徳太子、楠木正成、織田信長などなど、独創的で卓越した人々がたくさんいます。そこから、将来、政治家に関心を持つようになりました。そして、現在までに紆余曲折を経て、社会に様々な問題があることを知りました。理不尽な事、信じられない事、色々経験してきました。だからこそ、尚更、政治家になって社会を良くしたいと考えるようになりました。

今回のインターンシップで、県議会議員である日下議員をはじめ、スタッフの方々、茅ヶ崎の皆様とすごし、議会での政治活動のみならず、地道な政治活動も経験して政治家の仕事を「表と裏」から理解したいと思います。

インターンシップをするこの2月、3月の間、ご迷惑をかけるとは思いますが、よろしく願います。

慶應義塾大学総合政策学部1年 箕島淳一

記録映画「いのちの作法」を見て

昭和30年代に、豪雪・貧困・多病多死の三重苦を乗り越え、全国に先駆けて、老人医療費の無料化と乳児死亡率ゼロを達成した岩手県西和賀町は、現在でも命を大切にする「生命尊重の理念」を持つ素晴らしい町です。これを築き上げた当時の深沢村長の理念は、今も若い世代に受け継がれています。映画では、ホームに入っている老人を雪見そりに乗せて皆で引っ張る姿、障がい者のひとたちでふるさと宅急便を作り地元の産物を配送して仕事としている、他県の児童養護施設のこどもたちの家庭体験の受け入れなど、思いやりとあたたかさにあふれた地域の力を感しました。

神奈川県の特別養護老人ホームの待機者は、22,865人、県では来年度以降、13箇所のホーム建設計画があります。都会の中でも、地域で、支えあい、助け合い、上手に迷惑をかけながら、住み慣れた街で生き生き暮らせるよう願います。

くさか景子のひとりごと 活動報告の ブログ 更新中です！ぜひご覧ください！
<http://www3.ocn.ne.jp/~children/>